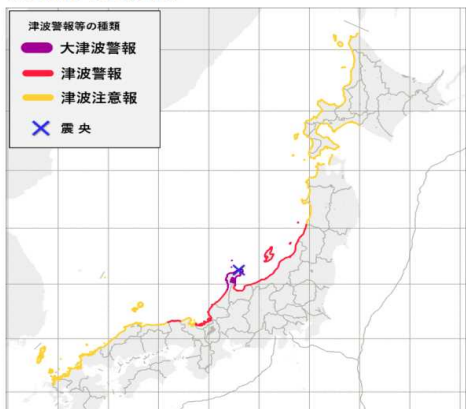


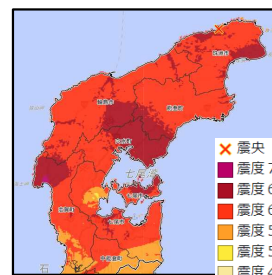
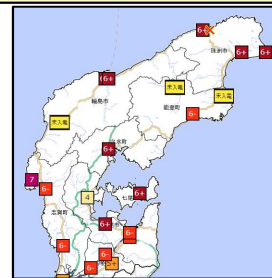
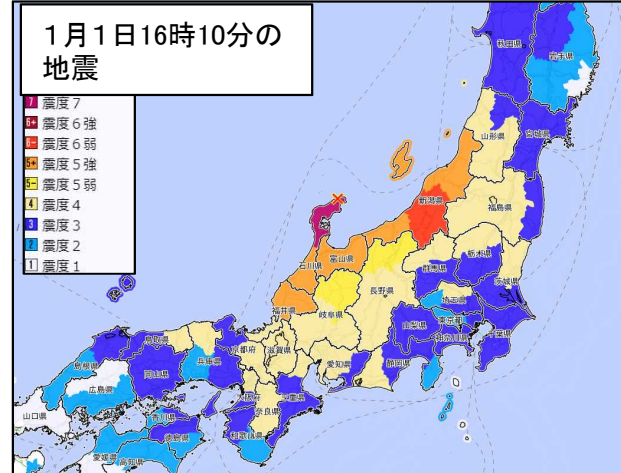
- 2024年1月1日16時10分にマグニチュード7.6、深さ16kmの地震が発生し、石川県志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測。
- 石川県能登に対して大津波警報を、山形県から兵庫県北部を中心に津波警報を発表し、警戒を呼びかけ。輪島港で1.2m以上、富山で0.8mなど各地で津波を観測。その後、発表していた津波注意報は、2日10時00分に全て解除。
- 2024年1月8日10時現在、1日16時以降、震度1以上を観測した地震が1215回発生(震度7:1回 震度6弱:1回 震度5強:7回 震度5弱:6回 震度4:39回 震度3:138回 震度2:342回 震度1:681回)。
- 今後1か月程度、最大震度5強程度以上の地震に注意が必要。海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波にも注意が必要。
- 気象庁では、石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

津波警報等発表状況

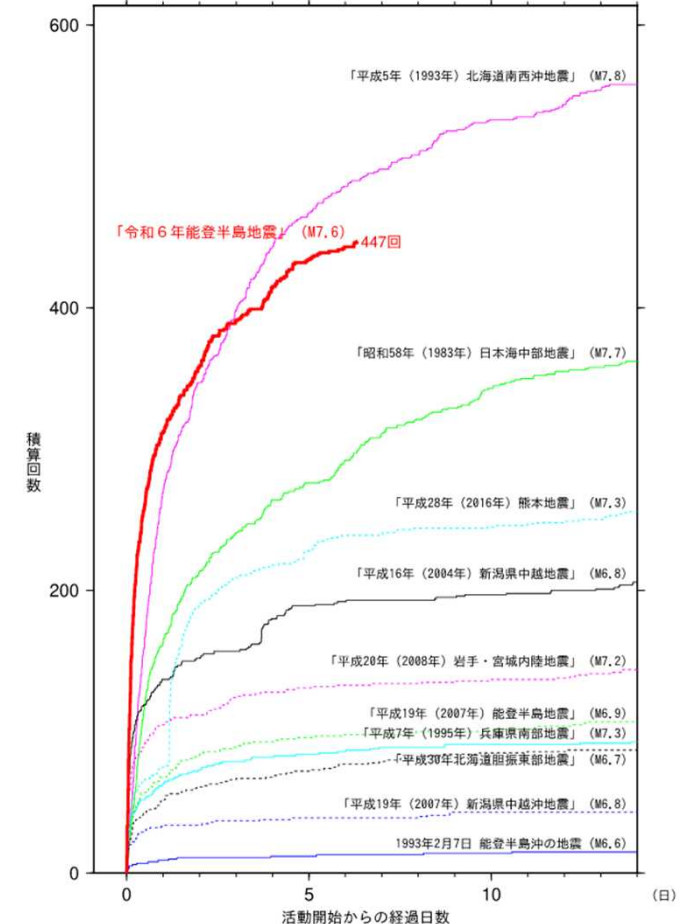
1月1日16時22分発表



震度分布図・推計震度分布図

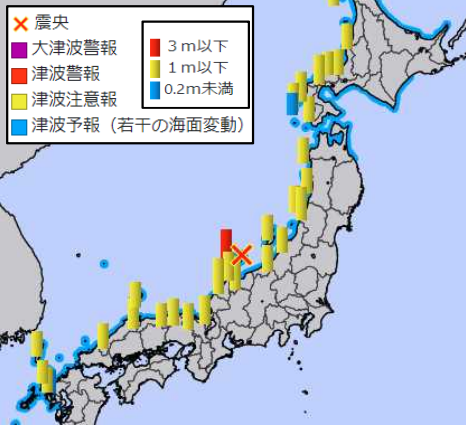


陸のプレートでの主な地震活動の地震回数比較 (マグニチュード3.5以上)
2024年01月07日24時00分現在



津波の観測状況

1月2日10時03分発表



震度1以上の地震回数

時間別	最大震度別回数									合計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
1/1 16時-24時	130	135	67	18	5	3	0	0	1	359
1/2 00時-24時	269	98	37	8	1	1	0	0	0	414
1/3 00時-24時	114	41	15	4	0	2	0	0	0	176
1/4 00時-24時	59	19	4	3	0	0	0	0	0	85
1/5 00時-24時	51	19	9	2	0	0	0	0	0	81
1/6 00時-24時	36	13	3	1	0	1	1	0	0	55
1/7 00時-24時	19	10	3	3	0	0	0	0	0	35
1/8 00時-10時	3	7	0	0	0	0	0	0	0	10
総計	681	342	138	39	6	7	1	0	1	1215

※地震回数は、精査の結果後日変更される場合がある。

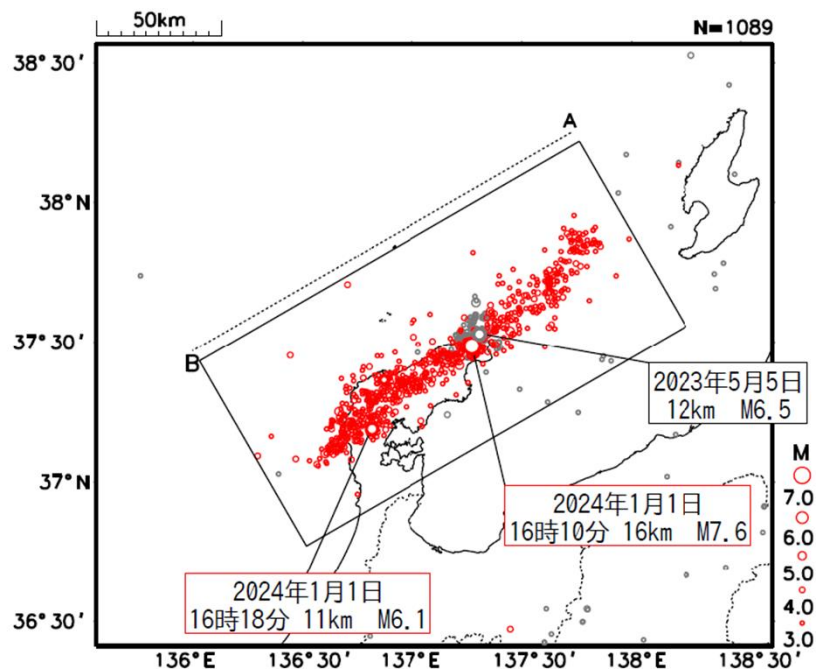
「令和6年能登半島地震」について

- 石川県能登地方では、2018年頃から地震回数が増加傾向、2020年12月から地震活動が活発になり、2023年5月には最大震度6強の地震が発生し、地震活動が活発な状態が継続していた。
- この地震活動により、2020年12月以降、2024年1月1日16時までに、震度1以上を観測した地震が506回（震度6強：1回、震度6弱：1回、震度5強：2回、震度5弱：1回、震度4：13回、震度3：49回、震度2：119回、震度1：320回）発生。（2024年1月8日10時までに震度1以上を観測した地震は1721回発生）
- 政府の地震調査委員会によると、2024年1月1日16時10分のマグニチュード7.6（最大震度7）の地震以降、現在も活発な地震活動が継続している。一連の地震活動は、1月1日以降、地震活動の範囲が広がっており（北東－南西に延びる150km程度の広がり）、これまでの地震活動及び地殻変動の状況を踏まえると、一連の地震活動は当分続くと考えられると評価。

■震央分布図

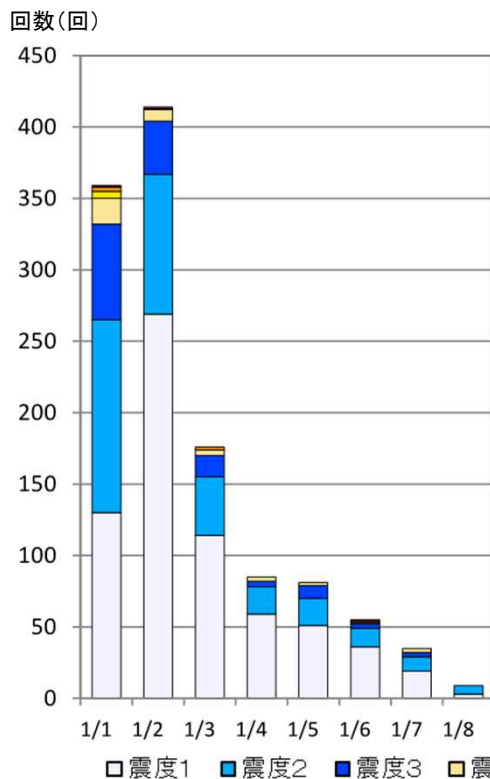
（2020年12月1日～2024年1月3日11時00分、
深さ0～30km、M3.0以上）

※2024年1月1日以降の地震を赤く表示

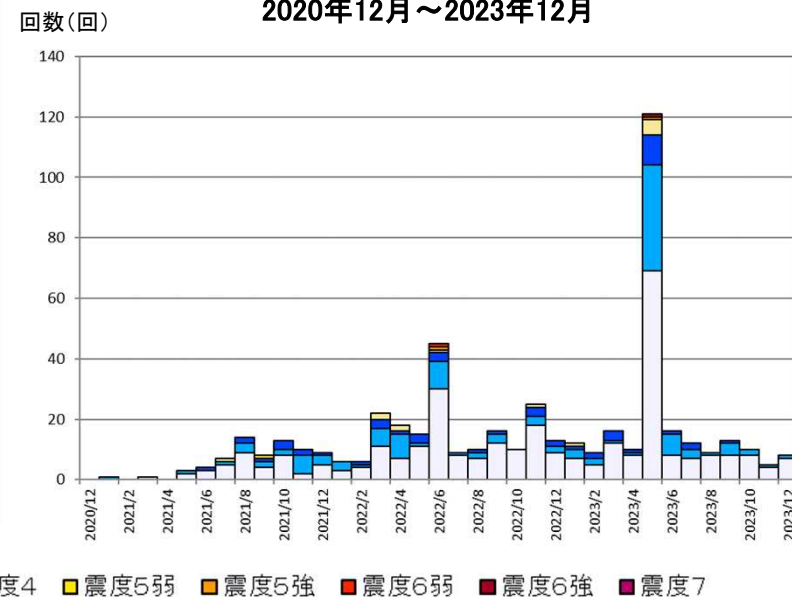


■最大震度別地震回数

日別回数
2024年1月1日～1月8日10時



（参考）月別回数
2020年12月～2023年12月



※地震回数は、精査の結果後日変更される場合がある。

○通行止め区間(最大)

- E7日本海東北道(新潟中央JCT~荒川胎内IC)【6区間】
- E8北陸道(丸岡IC~新潟中央JCT)【36区間】
- E17関越道(小出IC~長岡JCT)【5区間】
- E18上信越道(信濃町IC~上越JCT)【4区間】
- E41東海北陸道(小矢部砺波JCT~白川郷IC)【3区間】
- E41能越道(公社)(小矢部砺波JCT~高岡IC)【3区間】
- E49磐越道(津川IC~新潟中央IC)【5区間】

○通行止め区間(1/2 6:30時点)

- E8北陸道(加賀IC~黒部IC、糸魚川IC~能生IC(上り線)、
かしわざき にしやま
柏崎IC~西山IC)【16区間】
- E41東海北陸道(小矢部砺波JCT~白川郷IC)【3区間】
- E41能越道(公社)(小矢部砺波JCT~高岡IC)【3区間】

通行止め区間内 点検及び補修中



主要幹線道路 通行止め状況(令和6年能登半島地震 震度7)

1/5 5:30

- 高速道路では、1路線10区間で通行止め (最大：7路線75区間)
- 直轄国道では、1路線1区間で通行止め (最大：4路線 6区間)
- 補助国道では、3路線29区間で通行止め (最大：4路線38区間)
- 都道府県道では、3県78区間で通行止めが発生

} 調査中

<都道府県道の被災等による通行止め>

石川県 67区間
新潟県 2区間
富山県 9区間



奥能登2市2町へのアクセスルート

1/9 7時00分時点



【通行可能】
県道1号(七尾輪島線)

【通行可能】珠洲道路

【通行可能】
県道6号(宇出津町野線)

【通行可能】
県道7号(穴水門前線)

【通行可能】
国道249号

1/7(日) 8時~交通規制
(一般車両通行規制)

○国道249号は、余震による新たな被災への対策を含め、**対面通行確保のための緊急復旧**を国と県とで連携して実施

○引き続き、渋滞状況を見ながら、路面段差の解消など、**交通の更なる円滑化に向けた対策**を実施

国道249号 主な被災箇所
(大津交差点~穴水町役場付近)



①小牧 地割れ

近傍の迂回路2本(大型車用、普通車用)を活用して、相互通行を確保



②笠師 倒木

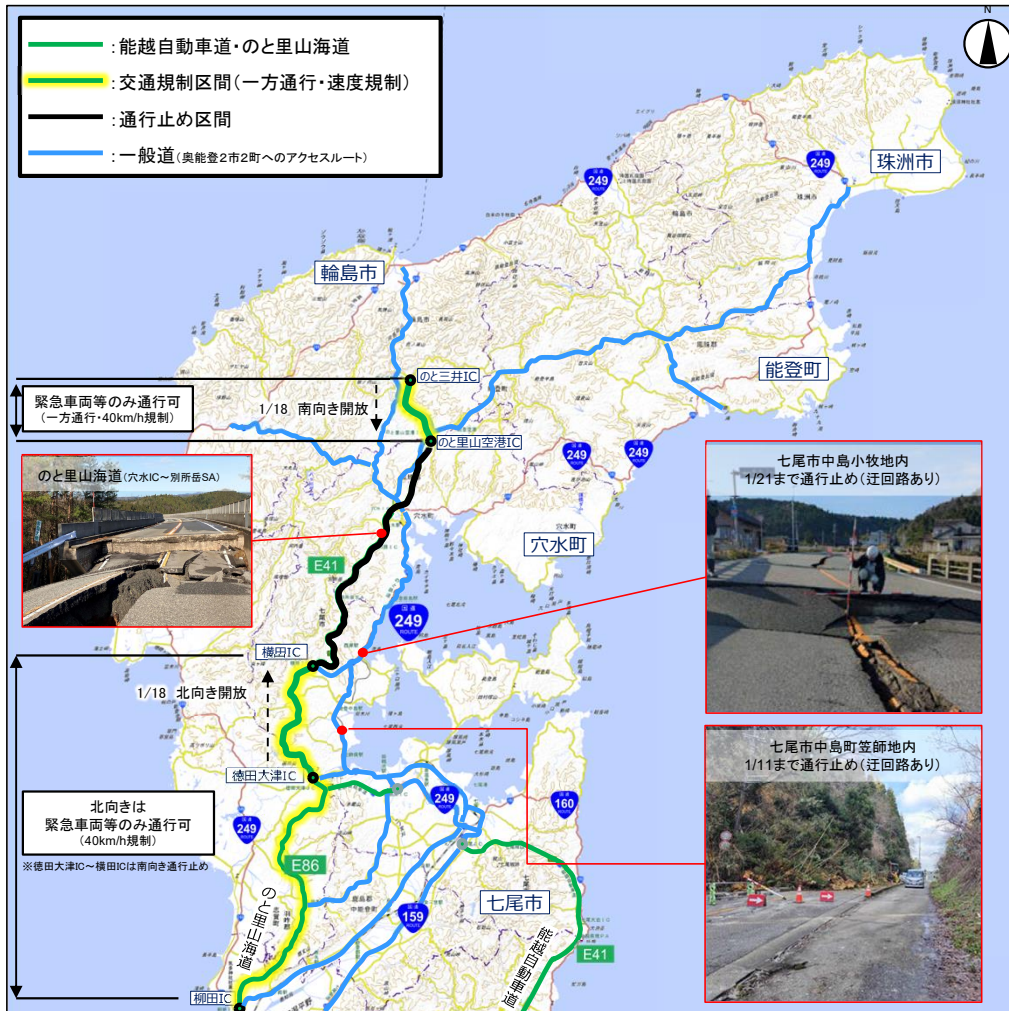
近傍の迂回路を活用して、相互通行を確保

○七尾市(徳田大津)からの所要時間

1/6(7時台発): 穴水町 約2時間	輪島市 約5時間	珠洲市 約5時間
1/7(8時台発): 穴水町 約1時間	輪島市 約3時間	珠洲市 約4時間
1/8(8時台発): 穴水町 約1.5時間	輪島市 約3時間	珠洲市 約4時間

※1/8は前夜の降雪の影響あり

令和6年能登半島地震における交通マネジメント

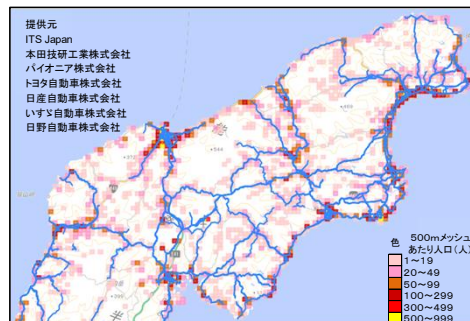


▲能登半島へのアクセスルート図 (1月30日時点)

○通行状況の確認

被災直後より、ETC2.0や民間のプロープ情報から得られる通行実績※のデータを人口メッシュに重ね合わせることで、居住地域へのアクセス状況を確認。

※右図中の青線箇所が通行実績



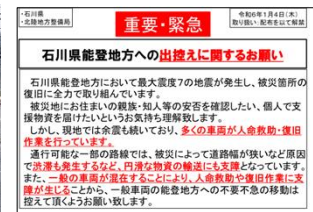
▲プロープ通行実績 (1月28日8時~1月30日8時)
 ※人口メッシュ(500m) (総務省) 国勢調査に関する地域メッシュ統計 (令和2年)

○出控えに関する呼びかけ

1月4日以降、石川県と北陸地整が合同で、渋滞や雪の状況を踏まえながら一般車両の移動抑制を要請。
 ※1月6日より「のと里山海道」における一般車両の通行規制を開始。



▲被災直後の国道249号 (穴水町乙ヶ崎)



▲記者発表資料 (1月4日)

○石川県災害時交通マネジメント検討会 (第1回1/12 第2回1/19)

<メンバー>

国交省、石川県、市町村、有識者、自衛隊、鉄道会社、バス会社 など

<主な議論>

- ・ 一般車両への出控え要請の継続
- ・ ピーク時間帯をずらした資材運搬などの行動変容の呼びかけ など



▲開催の様子 (web)

○道路復旧見える化マップ

1月12日より、緊急復旧の状況や交通状況等をweb地図上で閲覧できる「道路復旧見える化マップ」を公表。
 平均旅行速度や、実走車両からの報告をもとに、都市間の所要時間を公開。



▲道路復旧見える化マップ

○災害復旧関係車両向け案内マップ

1月26日より、緊急車両や支援物資搬送等の災害復旧車両が被災地を通行する際の参考として「災害復旧関係車両向け案内マップ」を公開。



▲災害復旧関係車両向け案内マップ (1月26日時点)

石川県災害時交通マネジメント会議(能登半島地震)の設置

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、基幹となる能越自動車道等が通行止めとなる中、限られた道路への交通集中により大規模な交通渋滞が発生する恐れがあることから、有識者、行政、及び交通事業者等で構成される「石川県災害時交通マネジメント検討会」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施

【経緯】

- 第1回 令和6年1月12日(金)
- 第2回 令和6年1月19日(金)

【主な議論】

- ・ 一般車両への出控え要請の継続
- ・ ピーク時間帯をずらした資材運搬などの行動変容の呼びかけ
- ・ 交通が集中している道路と並行する道路の計画的な早期啓開



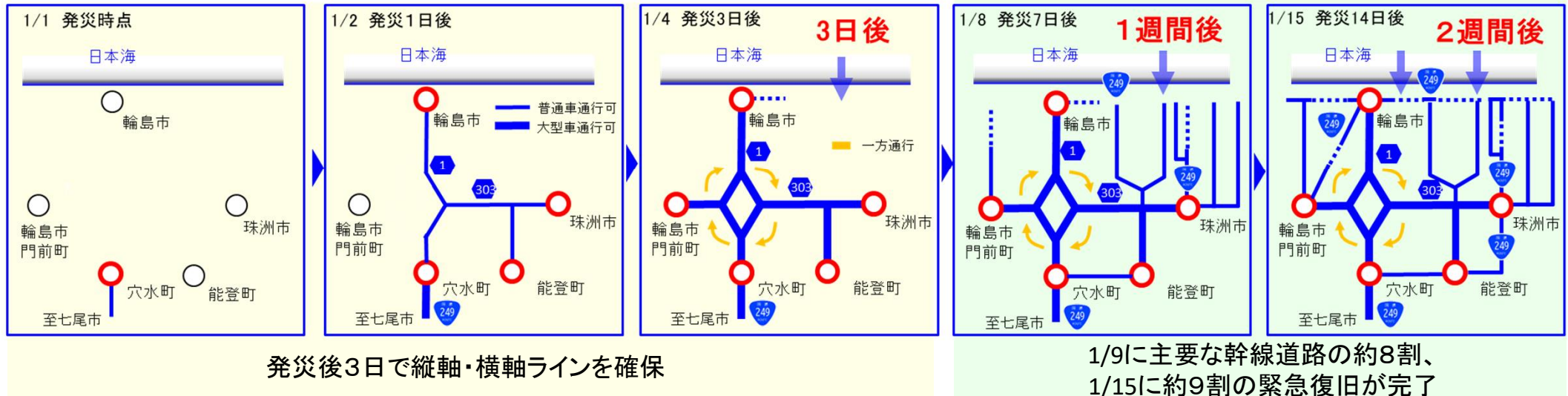
石川災害時交通マネジメント会議 委員名簿

公立小松大学 教授 高山 純一	国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長
金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子	国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長
公益社団法人 石川県バス協会 専務理事	国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長
一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事	国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長
のと鉄道 常務取締役兼鉄道部長	国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長
I R いしかわ鉄道 安全推進室長	輪島市役所 建設部 土木課 課長
自衛隊 中部方面隊 第4施設団防衛班長	珠洲市役所 環境建設課 課長
自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任	能登町役場 建設水道課 課長
石川県県民ボランティアセンター 事務局長	穴水町役場 地域整備課 課長
石川県 土木部 道路建設課 課長	中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長
石川県 土木部 道路整備課 課長	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長
石川県 警察本部 交通規制課 課長	

1 令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の経緯 (1月前半)

<孤立集落の解消に向け、県・自衛隊と連携し、陸・海・空からくしの歯状の緊急復旧を以下の手順で実施>

- 1/2 七尾市から、輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで普通車での通行を確保
- 1/4 輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで大型車が通行可能となり、縦軸・横軸ラインを確保
- 1/8 「くしの歯」の「歯」になる幹線道路の緊急復旧を継続し、能登半島内陸及び海側から7ルートを確認
- 1/15 日本海側へ9ルートを確認し、緊急復旧を加速。国道249号等半島内の主要な幹線道路の約9割で緊急復旧完了



○緊急復旧(道路啓開)作業の様子



写真① 県道1号 輪島市三井町での啓開作業(1月3日撮影)



写真② 深見海岸 海側からの重機運搬(1月14日撮影)

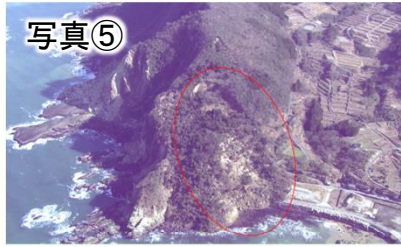


令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月6日(土)
05時00分時点

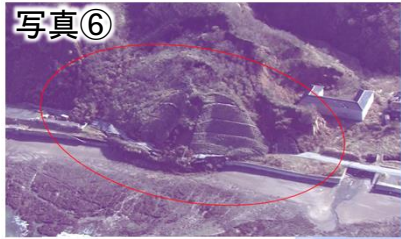
- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されている状況だが、関係機関とも連携し、陸路のアクセス確保にむけ道路の緊急復旧を推進

写真⑤



国道249号トンネル坑口崩落

写真⑥



国道249号法面崩落

写真⑦



国道249号被害

写真⑧



(主)七尾輪島線(県道1号線)
緊急復旧完了

整備局道路情報管理官を金沢河川国道事務所に派遣し、体制強化

これまでの県道復旧に加え、全国の地方整備局職員(TEC-Force)による地区内道路の調査を開始(1/6~延べ328名を予定)



写真①



国道249号調査状況

写真②



国道249号緊急復旧状況

写真③



復旧前



復旧後

県道1号線
緊急復旧完了

写真④



陥没復旧前 陥没復旧後
国道249号緊急復旧完了

- 凡例
- 車両通行可
 - 応急復旧到達地点
 - 県対応(この他にも作業を実施)
 - 自衛隊対応
 - × 国道249号 全面通行止め箇所
 - 孤立集落(県から報告済※)
 - 孤立集落(報道等による想定)
 - 孤立集落(解消済み)

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年2月9日(金) 7時00分時点
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、11方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	11方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移※3

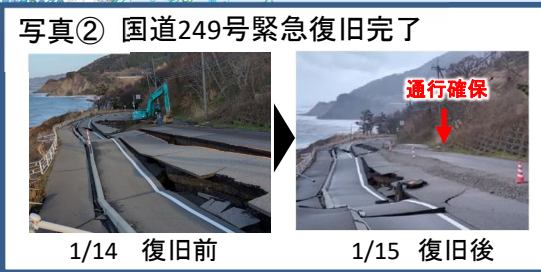
1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
2月5日16時	実質的に解消 (1地区5人)※4

※3: 内閣府防災資料より
※4: 輪島市大屋・避難の意向なし

生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧状況※5

優先復旧の要望数	43箇所
うち完了数	29箇所(約7割)

※5: 水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り



凡例

- 国交省対応(走行可能)
- 県対応(走行可能・その他でも作業を実施)
- 自衛隊対応(走行可能)
- 自動車専用道路(走行可能)
- ≡≡≡ 自動車専用道路(走行不可)
- × 被災規模 大
- 孤立集落(内閣府防災資料)
- ★ 国復旧業者作業箇所
- 沿岸部への到達点

一般道

金沢から穴水方向のみ通行可 ※一般車両通行止め





(一社) 日本建設業連合会による道路啓開作業
(1月7日撮影)



(一社) 建設コンサルタント協会による大谷ループ橋の被害状況調査 (1月18日撮影)



(一社) 全国建設業協会による道路啓開作業
(1月12日撮影)

道路啓開作業に携わる建設関係団体 1月30日時点

- ・(一社) 日本建設業連合会
- ・(一社) 日本道路建設業協会
- ・(一社) 建設コンサルタント協会
- ・(一社) 全国建設業協会
 - (一社) 石川県建設業協会
 - (一社) 富山県建設業協会
 - (一社) 新潟県建設業協会



1月16日 建設通信新聞



国道249号大谷トンネルの被災状況を調査するTEC-FORCE（1月11日撮影）



輪島市長に調査結果を報告するTEC-FORCE（1月28日撮影）

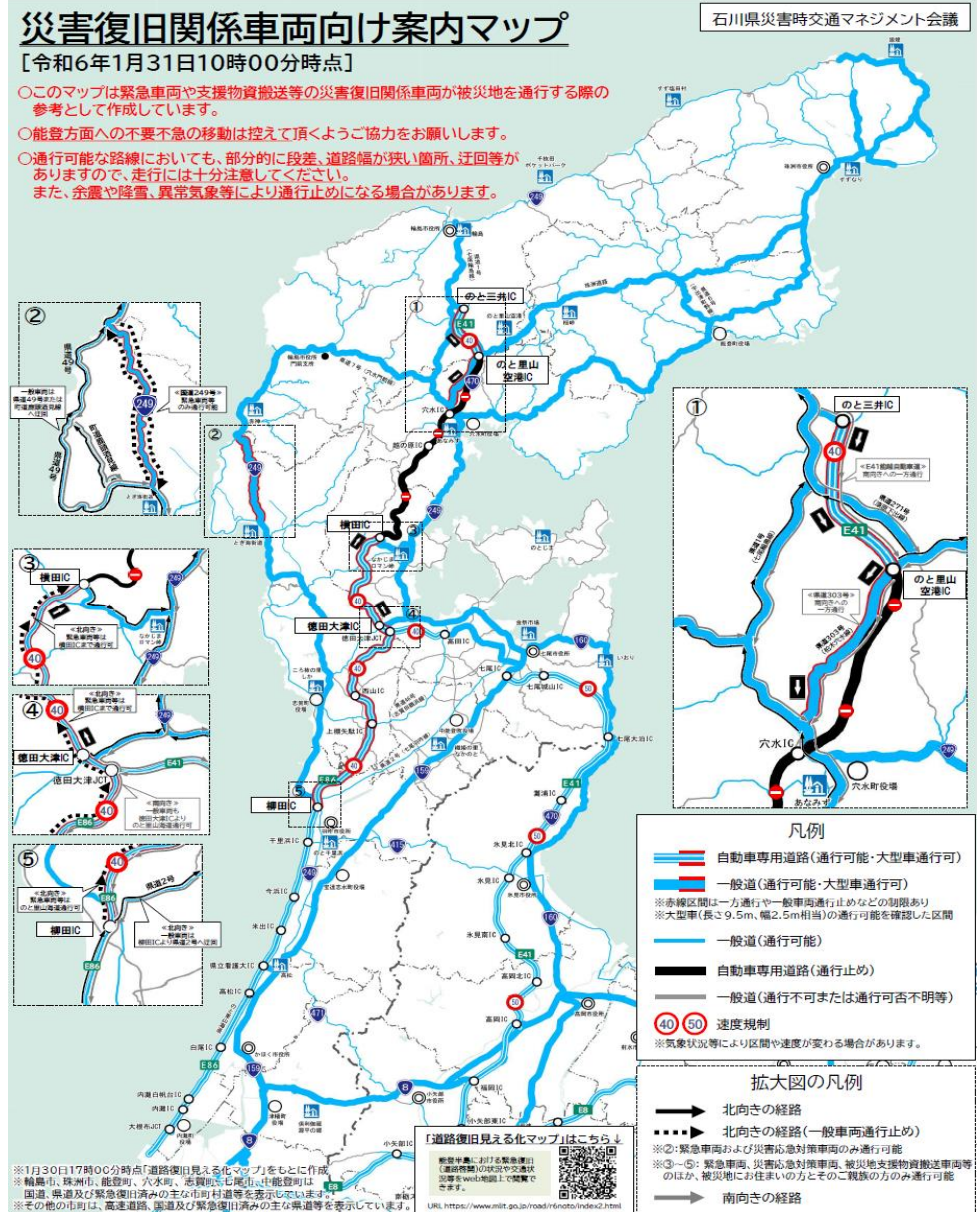


のと里山空港に開設した道路啓開支援センターで啓開作業の指揮にあたるTEC-FORCE（1月17日撮影）

道路関係のTEC-FORCE派遣状況 1月30日時点

- 派遣数： のべ4,654人(全体11,663人)
- 派遣元： 国総研、土研、各地整
- 派遣先： 北陸地整、穴水町、小矢部市、金沢市、珠洲市、七尾市、能登町、輪島市
- 内容： 被災状況調査、技術指導、啓開作業の指揮

- 1/14 総理大臣の指示を受け、権限代行に関する手続きに着手
- 1/23 国が石川県に代わり国道249号沿岸部延長53kmおよび能越自動車道のうち延長38kmについて本格的な災害復旧を代行することを決定
- 1/26 緊急車両や支援物資搬送等の災害復旧関係車両が被災地を通行する際に参考となる「災害復旧関係車両向け案内マップ」を公表



「道路復旧見える化マップ」掲載情報

※掲載情報は今後随時更新予定

URL <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>



道路の緊急復旧済み区間、作業状況



七尾市から輪島市・珠洲市への所要時間・速度状況 (毎日更新)

道路被災状況 (航空測量各社※調査の空撮画像を集約)

(※朝日航洋(株)・アジア航測(株)・国際航業(株)・(株)バスコ)

